

校長室より

「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼教之

部活動 観戦記 『がんばれ！ ニショー！』

秋は、各部活動において、3年生が引退した後を受け、1・2年生を主体とした新人大会が行われます。夏に培った技術やチームワークを如何に発揮して初戦突破、そして上位進出につなげるかが目標です。

各部の大会に出掛け、選手を激励して回りました。

まずは、9月からスタートした野球部。強豪校を次々と破り、甲子園出場を期待して応援に参加していたかもしれません。八王子球場のスタンドの応援席以上にグラウンドの選手は、大きなプレッシャーを感じながらプレーをしていたことでしょう。結果は準々決勝で日大二高に延長12回タイブレークの末、敗れました。3大会連続の延長負けで悔しい思いです。来春のセンバツ出場の夢は絶たれましたが、次の大会を見据えてこの冬しっかりとトレーニングを積み、一回りも二回りも成長して鬱憤を晴らしてくれることを祈りましょう。



11月3日（金）、バドミントン部男子団体戦は有明地区で開催。一試合目は広尾学園と対戦し、ダブルス1勝1敗、シングルス2勝1敗の3勝で勝利。シングルス二人を残す時点で1勝2敗と追い込まれていただけに最後の2勝はチームにとって大きな収穫となりました。続く2試合目は都立東高校が相手。ダブルス戦が隣り合ったコートで

同時進行し、1勝1敗、そのあとシングルスが連敗を喫し、チームの敗戦となり、シード校との対戦は叶いませんでした。でも、まじかで展開されるラリーはとって迫力がありました。

11月5日（日）女子バレーボール部は池袋で竹早高校との一戦。1セット目は緊張からか中々ボールが繋がりません。相手の早いサーブにレシーブを崩され簡単にセットを落としてしまいました。気持ちを入れ替えて2セット目は、丁寧なプレーを心掛け、二松ペースでゲームは展開していきました。20点を先取してこのままフルセットへ持ち込めるかと思いきや終盤追い上げを受け、逆転でセットを取られ、0-2で敗戦。しかし、今後の課題もはっきり見えた意味のある試合内容でした。保護者の方も応援に駆けつけ、応援団はしっかりギャラリから声援を送っていました。リーグ戦2試合目は残念ながら保護者に託し、私は男子バレー会場に移動。曾根先生から後日、2試合目は、勝利との報告がありました。



午後は町田に会場を移して応援に入りました。相手は都立でも力のある東大和高校。公式練習が始まると相手のスパイクがコートに刺さり、外から分析するとちょっとやばいかも？といった印象。1セット目は、連携の乱れもあり、相手の一方的な展開となりました。続く第2セットは、随所にうちの形を展開する場面



も見られ、相手も気を入れてプレーする場面がでてきましたが、結果は0-2の敗戦でした。意識してリズムを作れるようにすることが今後の課題です。試合前にJRの人身事故に巻きこまれ、応援の保護者も試合後半からの声援でした。

生徒らの必死なプレーにご声援いただいた保護者の皆さま、応援ありがとうございました。